

2018地本政策フォーラム



8機関から7つの提言発表



10月16日、こぶし会館において「2018地本政策フォーラム」が開催されました。全31機関29の提言の中から、選出された8機関7つの提言の発表と議論を行いました。「乗務員勤務制度の改正」「変革2027」など会社施策が急激に進む中、職場や地域の現実を踏まえ創造していく事や、組合員の労働環境の改善に併せて、社員数の減少の中で地方としての働き方などに対し、提言が出されました。

私たちは「政策集団」として会社施策に向き合う事が求められています。各職場から出された提言の実現に向けて、職場から議論を創りだしていきましょう！！

第1セッション 駅職場の未来創造

ライフサイクルや少子化、新規採用者減の中、大幅な人員増が見込めない営業職場の現状を踏まえ、担務・作業ダイヤを見直し、本当に必要な要員を確保する為の提言や、高齢者の多い地方線において、使いやすい駅施設のあり方などの提言が出されました！

第3セッション 災害に強い鉄道づくり

毎年自然災害が猛威を奮っている中、安全輸送をどう守るのか？実際踏査した上での提言や、動物への衝突に伴う輸送障害の軽減に向けた提言、東京オリンピックを控えた中、列車車内の安全を守る為の提言など、多くの「災害」に対応できる鉄道にしていく為の議論が行われました！

第2セッション 安全風土の確立に向けて

乗務員勤務制度が改正される中、女性の働きやすい環境についての提言や、今後増えるであろうワンマン運転に孕む問題克服に向けた提言が出されました。また、スイカを利用し在来線に乗車するお客さま対応の課題なども議論になりました。

代表提言決定 担務・作業ダイヤを見直し 営業職場の適正な要員配置を考える



青森駅連合分会・大湊駅連合分会

代表機関は11月11・12日開催の「本部政策フォーラム」で提言発表します！